
玉野市 若者の意識と生活に関する アンケート調査

－ フリーアンサー取りまとめ結果 －

令和 7（2025）年 9 月
岡山県 玉野市

～ 目 次 ～

1	働く場所や雇用機会の創出に関する意見・要望	1
2	学習・教育の充実に関する意見・要望	1
3	子育て支援に関する意見・要望	3
4	子どもの遊び場や居場所等に関する意見・要望	4
5	医療環境に関する意見・要望	5
6	道路や交通機関の整備に関する意見・要望	6
7	商業施設等若者が集まり楽しめる場の充実に関する意見・要望	7
8	市の取組等に関する意見・要望	9
9	その他の意見・要望	13

問 40 若者が暮らしやすいまちづくりに向けて、玉野市に対するご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、自由にお書きください。

注：（ ）は、回答者の性別・年齢を記載しています。

1 働く場所や雇用機会の創出に関する意見・要望

- ・働く場所を増やしてください。（男性 25～29 歳）
- ・玉野市での雇用や仕事先の充実（女性 25～29 歳）
- ・宇野築港田井エリアでは、インバウンド需要の影響でゲストハウスや飲食店等が増えていて移住者も増えていますが、玉野市での雇用を拡大して住む人が増えなければ抜本的な解決にはならないと思います。その為には、都会に出て行かなくても経済的に安定して生活できる環境が大切だと考えます。プロセスとしては、起業の支援、企業の誘致→雇用の拡大→公的住宅の拡充・改修、空き家対策→住む人が増える→必要な公共施設やサービス業、小売店の需要が高まり増える→結果的に玉野市で基本的な生活が整う人が増え、若者も都会へ行く必要がなくなり増えるのではないかと思います（経済的、教育・子育て等で考えた場合）。玉野市においての内需の拡大が必要だと思います。（男性 30～34 歳）
- ・若者が暮らそうと思う中での一つとして、働く場所が玉野であれば通勤時間の短縮になるため、自然と玉野で住もうとなる人が増えると思います。働く場所を増やすためには、多くの企業に玉野市に来ていただき、玉野市内での雇用人口を増やすことが一番。玉野市に活気が出て人口も増え、結果子育て世代の増加に伴うコミュニケーションも増えていくのではないかと考えます。（男性 30～34 歳）
- ・玉野市は岡山へも倉敷へもアクセスが良いし、車さえあれば生活に特に困ることはなく暮らしやすくて気に入っているが、玉野市で働くイメージがあまり湧かない（子育てしながら働ける企業があるのか、同じ年代くらいの人たちと交流しながら働きたいが、そういう場があるのか、刺激を受けながら働ける場所があるのか等）。子育てとの両立を考えるとなるべく近場で働きたいが、やはり岡山市内の街中で働いている方が活気もあって刺激がある気はしている。（女性 30～34 歳）
- ・安心して働ける職場の拡充、企業の誘致（女性 30～34 歳）
- ・玉野市で働ける場所が少ない。企業誘致が必要だと思います。若者が安心して働ける、魅力的な企業を誘致（男性 35～39 歳）
- ・雇用が少ない。（性別不明、35～39 歳）

2 学習・教育の充実に関する意見・要望

- ・小学校や中学校統合の話があるが、保育園、小学校、中学校が全て近いのでこの土地を選んだのに、統合したらもっと移住する人が少なくなると思う。（男性 25～29 歳）
- ・人口減少により、小中学校の統合は仕方ないとはいえ、通うまでに住んでいる地域によって差があるのではと考えます。こちらに関しては、学校に通っている保護者に聞いた方がよいですね。（女性 25～29 歳）
- ・瀬戸内芸術祭が始まり英語が必須な世の中でもっと英語に触れるような環境作りが必要だと思います。（女性 25～29 歳）

- ・玉野市は変化に弱い市民が多すぎる故に発展しない。特に学校の統廃合の件に関して。全国的に少子化、子どもたちが減っている中、今まで通りの体制では不可能なことが多い。そこへの理解が乏しい。（女性 30～34 歳）
- ・学校教育に予算をお願いします。ここでいう予算は各学校へ振り分ける予算ではなく、「綺麗なトイレ」や「特別教室のエアコン設置」、「給食の充実」などです。よろしくお願いします。（女性 30～34 歳）
- ・玉野市の教育、少子化で少ない人数しか関わりがなくなりそうなのが不安です。学校の合併の件で反対意見が多く、先延ばしになって結局どうなるのかが不透明で不安です。子どものためには、クラス替えとかもあって、色々な人と関わってほしいと思っている人もいます。近くの小学校をなくすのであれば、近隣の小学校区をどちらか選べる形などにしてほしい。例えば、八浜小ではなく荘内小に行けるようになるなど。（女性 30～34 歳）
- ・昨今の温暖化で、子どもたちが学校に行っても校庭などで遊んだり、運動できる日数が減っていると聞いたことがあります。他県の事例ですが、保育園の園庭を可動式の屋根で覆い、暑い日でも園庭で遊べるようにしたようです。玉野市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校も同じように整備できないものでしょうか。公立・私立とも設置できるよう、子どもたちの間で差が生まれないよう検討いただきたいです。また整備可能となった場合、屋根素材の色はできる限り白に近いものの方が太陽の光を反射しやすく、周囲の温度が上がりにくいそうです(ラディクールやスパールクールなどの素材であればなおよいかと)。直接的な脱炭素などの対策ももちろん継続していく必要がありますが、適応策も同時に考えていただければと思います。（女性 30～34 歳）
- ・小中学の合併により学区が広くなり、子どもたちが学校に通いにくくなるのが残念です。（女性 30～34 歳）
- ・学校の統合で、子どもを産めても学校に行けない。定住を考えていましたが、学校の統合があるため、子どもの進学に合わせて移住する予定です。（男性 35～39 歳）
- ・小中学校の統廃合の進み方が早急かつ極端過ぎて、市民の声を無視しているように感じる。特に市議会での意見まで無視して、無理矢理統廃合を進めるのは民主主義に反する重大な事案であり、市と教育委員会の姿勢に疑問を感じる。（男性 35～39 歳）
- ・学校をむやみになくさない。勉強できる自習室、学べる環境。（女性 35～39 歳）
- ・教育面の充実（女性 35～39 歳）
- ・玉野市のいいところを小さなうちから知ってもらおう。（女性 35～39 歳）
- ・子どもの習い事施設の充実（女性 35～39 歳）
- ・玉野市に愛着を持てるような教育や、玉野市の企業（働ける場所）を小中学生の頃から積極的に教えることで、玉野離れを防ぎ、就職で玉野に戻ってくる人を増やせないかと考えることがある。（女性 35～39 歳）
- ・若い人に限らないかもしれませんが、夜中のバイクや車の騒音が気になっています。幼いときから健全な交友を楽しめる場や、マナーやモラルを学ぶ機会があるとよいのかもしれない。（性別不明、35～39 歳）

3 子育て支援に関する意見・要望

- ・医療費無料がものすごく助かっています。（女性 17～19 歳）
- ・出産時の補助の充実、子育て支援の増額、子育てしやすい環境（男性 20～24 歳）
- ・医療費が高校生まで無料に加え、保育料等の施設を使用する際の金額を見直したり、土日や病児保育の利用が気軽にできる。また、親子での参加が可能な町の人たちでの交流の場を増やすと、小さい頃から親子で住みやすいと感じられるのではないのでしょうか。（女性 20～24 歳）
- ・子どもが少ないため、子育て支援や医療機関の充実が難しかったり、小学校の統廃合などにもあまり力を入れるのが難しいのは理解できるのですが、これから子どもたちが住みやすい暮らしやすい町にしていくためにも、子育て支援や小児科、産婦人科の普及を進めることが必要だと感じている。また、玉野市で子どもを育てたいと思える取組を何か考えることで、移住して子どもを玉野市で産みたい育てたいと思えて、小さな地域ではあるが少子化の貢献につながるのかなと感じている。（女性 20～24 歳）
- ・子育てをしやすい環境、支援。子どもが小さいうちは、共働きじゃなくても安心して子育てができるような経済的な援助や支援があれば、少子化も防げるのではないかなと思う。子どもが小さいうちは体調を崩しやすかったり、親子で一緒にする行事があったりと、職場を休むことも多いと思うので、それを迷惑かな？と思い、仕事を続けられない人が多い。また、何より仕事をすることで子どもと過ごす時間が少なかったり、時間的にも、精神的にも余裕がないように思う。それなら、子どもはいらないと考えている周りの人は多い。子どもが小さいうち（小学校に上がるまで）は、共働きじゃなくても子どもを育てていけるような支援、安心して暮らせるような支援があればと思う。（女性 20～24 歳）
- ・保育園の時間をあと 30 分長くしてほしい。（女性 20～24 歳）
- ・画期的な子育て政策をして移住者を増やす。国に先駆けて、子ども一人当たり月々10 万円くばる。（男性 25～29 歳）
- ・大前提として、子育ての支援の充実もとても大事だと思います。助け合いのような仕組み（子育てが終わっている方がボランティア等で子育てをしている家庭を訪ねて支援するサービス）があるとつながりも感じられて、孤立感も少なくなると思う。自然に囲まれて環境的には良いが、子育てや定住するには施設がなく不便。（女性 25～29 歳）
- ・住民税や保険料を安くしてほしい。児童手当をもう少し金額あげてほしい。生活が苦しいです。（女性 25～29 歳）
- ・子育て支援を頑張してほしいです。（女性 25～29 歳）
- ・第二子三子と子どもが増える家庭には、家や車を買うための補助金など。保育士への手厚い支援や、必ず使うおむつやお尻拭きなど、みんなに平等であるクーポンを発行するなど。共働きフルタイムをしなくても、もっと余裕のある子育てができるための支援があれば、結婚や出産に前向きになれる若者も増えると思います。（女性 25～29 歳）
- ・完全に個人の意見になるが、やはり今の若者は結婚して子どもを持つことに金銭的な不安があると思う。お金を補助することで、他の市とは違う所を見せられるとおもう。来てもらえれば、あとは玉野市の自然豊かな場所がその人たちをサポートしてくれる。問題は、就学してからが学校まで遠い問題があるので スクールバスを出したり、それまた補助金でバスを利用してもらったりする必要があると思う。日本全体にいえることだが 先がない高齢者にどんだけお金をかけても、国は豊かになりません。

子どもにお金をかけられない国は滅ぶ。これは県も市も一緒だと思います。非常に難しい舵取りだともおもいますが、無駄を省き、本当に人を増やしたいなら、やるべきことはシンプルなはずです。（男性 30～34 歳）

- ・もっと補助金、いろいろな補助金制度の見直し、子育てをしやすいような制度、保育所等の施設の見直し、保育所で働く人への補助の見直しなどを行うこと。（女性 30～34 歳）
- ・移住に関する取組も大切だと思いますが、今現在玉野に在住している市民に対して、玉野ならではの取組があると嬉しいです。非課税世帯でなく、しかし、子育てに支障が出ない範囲での仕事復帰になるため、以前よりも収入が減ってしまうので、これから子どもにかかるお金のことや、家のローンなどを考えると、将来のことが不安になります。（女性 30～34 歳）
- ・子育てしているお母さんたちにとって働きやすい環境、育休から帰ってきたら居場所がなかったり、制度が変わって働きづらくなったり、急な体調不良で休みたいときに上司から威圧的な態度をとられたり…。そういった環境では働きません。（女性 30～34 歳）
- ・子育て支援や妊娠出産の際のサポート（給付金や子育て支援センター、遊び場の充実）をもっと充実させてもらいたいです。（女性 30～34 歳）
- ・子育て世帯が定住しやすいように、子育て世帯向けの減税をする。（女性 30～34 歳）
- ・保育料の無償化、給食費の支援をしていただけると、ありがたいなと思います。（女性 30～34 歳）
- ・子育て支援は充実しているように感じます。（男性 35～39 歳）
- ・子育て世代が、安心して子育てできる街にしてほしい。（男性 35～39 歳）
- ・保育施設の老朽化問題（女性 35～39 歳）
- ・引っ越してきて知りましたが、結婚祝い金や出産祝い金などがなかったので少し残念でした。子育て世代としては、児童手当や保育園無償化は嬉しいのですが…今、これだけ値上がりすると、それでも生活が苦しいです。（女性 35～39 歳）
- ・経済的な支援を必要としています。非課税とか関係ない給付金を希望します。また、子どもがいる世帯にいくらかの補助金が出るとありがたいです。物価の高騰で、生活が苦しいです。（女性 35～39 歳）
- ・物価高なので給食費を助成してほしい。今のままでは、誰も子どもを産み育てることはできない。（女性 35～39 歳）
- ・保育料や教育費にかかる費用の削減（女性 35～39 歳）

4 子どもの遊び場や居場所等に関する意見・要望

- ・子どもの遊べる場所がない。（男性 25～29 歳）
- ・子どもが室内で遊べる施設、夏や雨の日にも大丈夫で低価格か無料で遊べるところを増やしてほしい。トランポリンやボルダリング、ボールプールなど、小さい子どもから小学生くらいまでの年齢が楽しめるような場所を。（女性 25～29 歳）
- ・真夏でも安心して遊ばせられる屋内型の遊具施設が必要だと思います（深山公園など屋外の施設だと、暑すぎて子どもを遊ばせられないので）。（男性 30～34 歳）
- ・最後に公園をもう少し綺麗にしてほしいです（遊具）。（男性 30～34 歳）

- ・子育て世代としては、子どもが遊べるようなキッズスペースや施設が増えてくれると、子育てもしやすいと感じる。（女性 30～34 歳）
- ・お母さんたちが日々孤独だと感じないような取組。児童館のような室内遊び場での交流会や、SNSを活用した交流の場を設けてみてはいかがでしょうか。（女性 30～34 歳）
- ・無料の室内遊び場があると、子育て世帯にはたいへん助かります。また、市内外から多くの人が訪れると思います。県内だと、わけまろパーク、吉備中央町キッズパークなど、綺麗で乳幼児が楽しめるおもちゃや遊具があり、授乳室や子ども用トイレなど設備も充実した施設があるので、そういった施設があると嬉しいです。（女性 30～34 歳）
- ・子育て世帯が利用しやすい飲食店の誘致もお願いしたいです。（女性 30～34 歳）
- ・今の子は外で遊ぶことが減ってきているので、少し大きめの公園を作る（遊具）。（男性 35～39 歳）
- ・児童館が古くさい。（女性 35～39 歳）

5 医療環境に関する意見・要望

- ・産婦人科を早急に！！（男性 17～19 歳）
- ・玉野市で出産ができない時点で、子育て世代に住んでもらおうという気がさらさらない。あと、病院とか年寄りしか居らんのに、子どもを診てくれるところ少な過ぎ。（男性 25～29 歳）
- ・玉野市内で出産、通院ができる産婦人科（女性 25～29 歳）
- ・個人的には、セカンドライフにはぴったりかなと思う。福祉や病院は、どちらかといえば充実している方ではないかなと思います。子育てに関しては、産婦人科がないことは大きいと思う。（女性 25～29 歳）
- ・子どもを増やしたいのであれば、市内に産婦人科や 24 時間開いている小児科を設置する。（女性 25～29 歳）
- ・安心して使える、使える時間にやっている病院を増やす。（女性 25～29 歳）
- ・玉野市に分娩できる施設が必要です。陣痛が来た際に、倉敷や岡山まで行かなければならぬ、で妊婦さんは不安が大きいと思います。（男性 30～34 歳）
- ・医療機関が弱い。病院も新しくなったが、救急搬送の受入れ率は低い。（女性 30～34 歳）
- ・産科がなく、子どもを産めないことも問題（女性 30～34 歳）
- ・玉野市には分娩可能な病院がないので、妊娠出産期にとっても心細く感じました。家から遠い産院で出産するのは、妊婦にとって大変なことです。まだまだ体が回復していない中、新生児を連れて産後すぐの健診を他市の病院にかからなければならず、とてもしんどい思いをしました。わたしは妊娠出産を 2 度経験し、玉野で産めないのであれば、もう子どもは無理かなと思っています。人口を増やしたいのであれば、まずその整備からではないでしょうか。（女性 30～34 歳）
- ・小児科や産婦人科等の医療機関の増設（女性 30～34 歳）
- ・病院を整えてほしい。（女性 30～34 歳）
- ・小児科などの子育てをする上でのいい病院、先生が少ない。市外に行かないといけないので、玉野市にも安心して診てもらえる環境を作ってほしい。（女性 30～34 歳）

- ・産科がないので、市外まで 30 分以上かけて通わないといけないのが不便です。また、いざ陣痛が来たときに遠いのが不安です。設備も整っており、安心安全に通うことのできる産科があると、出産への不安が少なくなり、この地で産みたい！と思う気持ちも高まると思います。市民病院の小児科の午後診療を増やしてほしいです。（女性 30～34 歳）
- ・そもそも産婦人科がない時点で、子どもが産めない。市内の小児科が夜間休日対応しておらず、緊急時は岡山市か倉敷市に出なければならない。（男性 35～39 歳）
- ・玉野病院に産科が必要だと思います。（男性 35～39 歳）
- ・医療機関の充実（女性 35～39 歳）
- ・産婦人科、小児科等の充実（女性 35～39 歳）

6 道路や交通機関の整備に関する意見・要望

- ・持続可能なパブリックトランスポーテーションの構築（男性 17～19 歳）
- ・公共交通機関の本数を増やす。（女性 17～19 歳）
- ・道路の整備（男性 20～24 歳）
- ・バスの便が少ない、公共交通機関をもう少し充実させてほしい（現在の居住地では、満足に遠出ができないため）。（女性 20～24 歳）
- ・交通の便がよくなることが必要だと思います。どこに移動しようと思っても、車がいる状況は若者～高齢者までどの年代でも住みづらい町になってしまうように感じます。（女性 20～24 歳）
- ・車がなくても利便性のよい交通機関の充実（性別不明、20～24 歳）
- ・玉原地域は山が多く険しいので、車を持っている人にとっては大丈夫です！しかし、バスや交通機関は少なく、地元の祭りもほとんどありません。（男性 25～29 歳）
- ・公共交通機関の充実も必要だと感じます。（女性 25～29 歳）
- ・玉野のフェリーの香川直通行きを復活してほしい。（女性 25～29 歳）
- ・交通手段がバスぐらいという難点（女性 25～29 歳）
- ・正直、飛躍的に交通インフラ（特に公共交通機関）がよくなると嬉しいと思う。私は実家や祖父母の家が玉野にあるから住んでいるのであって、その条件を除外した上で、わざわざ住むかといわれるとそうではない。愛着の理由は実家があるという 1 点のみに尽きる。（女性 25～29 歳）
- ・電車の本数を増やす。（女性 25～29 歳）
- ・バスや電車などの公共交通機関をもっと活用すべき。玉野に行く、玉野に帰れる手段がないと、誰も来ないし、帰ることもできない。路線も分かりやすくしてほしい。バスなんか、市外の人には倍以上の運賃を取ってもいいと思う。観光客は、料金よりも便利さを優先すると思う。（女性 30～34 歳）
- ・交通の利便性をよくしてほしい。（女性 30～34 歳）
- ・路線バスで荘内から深山公園や常山駅まで 1 本で行けるようにしてください。（女性 30～34 歳）
- ・バスや電車の本数などが減り、以前より不便になったので、玉野市に住む若者や高齢者のためにも交通機関は充実してほしいと思います。（性別不明、30～34 歳）

- ・公共交通手段が年々減少しており、車を持たなければ、移動すら満足にできない。（男性 35～39 歳）
- ・両備バスは重要な交通手段（男性 35～39 歳）
- ・バスの増便（女性 35～39 歳）
- ・公共交通機関の充実（女性 35～39 歳）
- ・若者の交通手段であるバスや電車を維持・増加してほしい。（女性 35～39 歳）
- ・交通手段が少ない。（性別不明、35～39 歳）
- ・道路が不便（自転車や歩行者の通る道がない、子どもが登下校しているときに危険）。今のままでは安心して子育てをしていけない。（性別不明、35～39 歳）

7 商業施設等若者が集まり楽しめる場の充実に関する意見・要望

- ・現代のモータリゼーションに即した大型商業施設による経済の活性化。コストコ、IKEA、アウトレットパークの誘致。（男性 17～19 歳）
- ・飲食系のチェーン店を増やす。（性別不明、17～19 歳）
- ・お祭りを増やしてほしい。（男性 20～24 歳）
- ・スポーツ量販店がほしい。（男性 20～24 歳）
- ・娯楽施設がほしい。（男性 20～24 歳）
- ・たまの・港フェスティバルの規模拡大をしてほしいです。また、音楽フェス等のイベントを誘致してほしいです！予算的にしんどいとは思いますが…ご担当の方、頑張ってください！（男性 20～24 歳）
- ・若者が集まるような飲食店、スポット。（女性 20～24 歳）
- ・夜のお祭りとか、イベントとかいっぱいしてくれたらいいのかなって思います。築港とかはいいと思う！（女性 20～24 歳）
- ・イオンのようなでっかい複合施設を作ってください。飲食チェーン店を充実させてください。Uber eats 導入と配達地区拡大。（性別不明、20～24 歳）
- ・若者が集う場所の充実（性別不明、20～24 歳）
- ・最新技術を取り入れ、近代化した改修。ちゃんとした大きな娯楽施設。どれもこれも中途半端なことをするから人が集まらない。いわゆるオタク文化もしっかり取り入れた大きなイベントなどの開催。（男性 25～29 歳）
- ・子どもを連れてご飯を気軽に食べに行けるところがほしい。遊び場が併設しているなど。（男性 25～29 歳）
- ・前から思っていたことがありまして、みやま公園道の駅の駐車場近くにスターバックスコーヒー店を作してほしい。なぜなら、30 号線は岡山行きの交通量が多く、朝早くから出勤する人がいるので、その人に向けたり、また、桜シーズンや紅葉シーズンに、お客さんが桜や紅葉見ながらコーヒーを片手に一杯飲むことは格別です。絶対に流行ると自負しております。（男性 25～29 歳）
- ・朝まで開いている居酒屋をつくる。カプセルホテルみたいな安価なホテルをつくる。（男性 25～29 歳）
- ・玉野市民が衣食住の買い物を玉野市内で完結できる。（女性 25～29 歳）

- ・アウトレットやコストコ、IKEAなどの商業施設をつくったらいいとおもいます。(女性 25～29 歳)
- ・コストコのような大きなショッピングモールがあれば、人が集うと思う。ボウリング場やカラオケのような室内で気軽に遊べる施設を増やしてほしい。ペットを連れて行ける施設がほしい。(女性 25～29 歳)
- ・若者、子育て世帯が集まれる屋内施設がほしいです。津山市のような駐車場が完備されている施設があると助かります。(女性 25～29 歳)
- ・荘内学区には、外食場所も遊ぶためのところも何もない。同期はどんどん玉野市から出ていった。(女性 25～29 歳)
- ・24 時間営業のスーパーを誘致する。ファミリーレストランを作る。安価な飲食店、チェーン店を増やす。高い寿司屋ではなく。安い寿司屋など。うどん店が多すぎる。長居できる飲食店がない。(女性 25～29 歳)
- ・スタバやユニクロ等、王道の施設がないので誘致を希望します。また、子連れが利用するファミレスが少なすぎると思います。(男性 30～34 歳)
- ・娯楽施設やレジャー施設をつくる。若者向けの商業施設を設ける。(男性 30～34 歳)
- ・若者に絞るなら、娯楽や商業施設もない。田舎のイメージしかない。(男性 30～34 歳)
- ・スーパーや本屋などを増やしてほしい。(女性 30～34 歳)
- ・もう少し規模の大きいショッピングセンターもしくは店舗の集まった空間ができればよい(今のメルカでは少し内容が物足りない)。わざわざ岡山や倉敷まで足を延ばさなくてもいいようなお店が玉野にも増えると、より過ごしやすい。(女性 30～34 歳)
- ・施設の充実化や若者に向けたお店をもっと増やしてほしい。(女性 30～34 歳)
- ・衣食を購入できる施設の増加(女性 30～34 歳)
- ・子どもと一緒に行きやすいお店が増えると嬉しい。例えばチェーン店のミスタードーナツ、サーティワン、スターバックスなど。(女性 30～34 歳)
- ・若者の買い物ができるお店が少なく感じるので、お店の誘致など(ユニクロなどの被服系、ミストなどの飲食店)。現在は買い物をするのに岡山市や倉敷市に出ることが多い。玉野市で経済を回したいが、お店が少ない。芸術の点や個人の飲食店で素敵なお店はたくさんあると思うが、若者に必要な量販店もほしいと感じる。セトウチコンテンポラリー 2025 楽しみにしています。岡山はまだまだ音楽イベントが少ないと思うので、毎年恒例の玉野のイベントになれば最高だなと思います。(女性 30～34 歳)
- ・玉野の中心部の発展ばかりに力を入れている印象がある。中心部以外にも商業施設を増やしてほしい。(女性 30～34 歳)
- ・お店を誘致してほしい。(女性 35～39 歳)
- ・カフェなどの商業施設(女性 35～39 歳)
- ・若者も楽しめるイベント開催(女性 35～39 歳)
- ・テイクアウトや配達をしてくれる飲食店。(女性 35～39 歳)
- ・海の街なのだから、大規模な海鮮を扱う施設などがあれば、たくさん人が訪れると思う。(女性 35～39 歳)
- ・若者向けの商業施設の充実(女性 35～39 歳)

- ・商業施設や若者が行きたいと思える場所を増やすべき。休日の買い物は岡山、倉敷に出ることが多く、玉野で暮らすことに不便さを感じている若者が多いように思う。（女性 35～39 歳）
- ・服や日用品などの買い物できる店や飲食店などがたくさんあると、住みやすいと思います。（女性 35～39 歳）
- ・飲食店の充実(宅配等)（女性 35～39 歳）

8 市の取組等に関する意見・要望

- ・若者だけにフォーカスするのではなく、老若男女問わず健康をキープすることのできるプール、温泉やジムが合わさったオールインクルーシブなスポーツファシリティの創出。（男性 17～19 歳）
- ・地域活性化に力を入れる。（女性 17～19 歳）
- ・南海トラフへの対策をもっとしてほしいです。（女性 17～19 歳）
- ・大きい海鮮市場を作り、バーベキューなど海鮮を食べられる施設を作る。市外の方（倉敷）には驚くほどカフェもたまの湯も人気ですので、街灯などの街並みをよくし、カフェなどに来る客の目的をカフェだけではなく、カフェ＋街並みを見に来ることを目的にできれば収益が上がると思います。グランピング施設は人気です。（男性 20～24 歳）
- ・農業用水の整備。イノシシ被害の対策。早めに！（男性 20～24 歳）
- ・宇野港には色々なカフェや商業施設があったりと充実していると思うが、あんまり同じ場所になかったり、行くタイミングが営業時間外だったりするので、せっかくいっぱいあるのに利用しにくいイメージがある。若者は手軽に利用したいと思うので、インスタ玉野市にある掲示板などで玉野市のおすすめスポットをもっと手軽に見られるように発信してほしい。（女性 20～24 歳）
- ・玉野市に住みたいような制度、それらを若者に知ってもらうための広報（女性 20～24 歳）
- ・お祭りとかあっても告知がないものもあるので、PRとかをインスタとかでしたらいいんじゃないのかなと思った。（女性 20～24 歳）
- ・若者向けの格安賃貸をつくってください。（性別不明、20～24 歳）
- ・一市民として申しあげますと、私は幼い頃から玉野市行政への不信感があります。今は利用者が減少したため閉園しましたが、私が通っていた保育園は閉まる時間が早く（15 時前後）、フルタイムで仕事をしている保護者ではまず迎えに行けないようになっていて、利用者への負担が大きかったと思います。現在はどうなっているのでしょうか。現在は改善されていることを願います。またインターネット回線について、我々の住む地区はNTTの光回線が通せないエリアであったため、新型コロナウイルス肺炎の流行でテレワークが多かった時期に学生だった私は、修士論文の提出や就職活動の時期に全く回線が使えず、それらの活動に支障がありました。どこの地区も大なり小なり不便はあったでしょうが、当時、岡山市や倉敷市に住む同級生との大きな格差を感じていたことは確かです。現在は私の住む地区も倉敷ケーブルテレビの回線が引かれましたが、着工も竣工も事態がかなり進んでからであり、必要だった時期に間に合わなかったと感じました。宇野駅周辺など市内の中心部があらゆるサービスにおいて優先となるのはやむを得ないことは分かりますが、営利や効率優先の民間企業であればともかく、行政に関しては、地域間における待遇の公平性がある程度保たれるよう努めてほしいものです。

特に昨今は多くの消費サービスでスマートフォンやパソコンの利用が前提となっていますので、時代に合った対応ができているというには、いささか遅きに失していると思えます。先日、岡山市南区から広がった山火事について。避難場所が鉾立公民館でしたが、当該の施設は地区としては避難指示区域である北方に属しており、火事の現場の目と鼻の先で、当時は避難場所の公民館から、今まさに燃えている山が見えました。大事に至らなかったからよかったものの、避難場所の設定として適切だったのか、どういった基準で選定されたのか分かりかねています。また、火事の発生から地域住民への広報までに時間がかかった印象もあります。いつ自分の家に火の手が回るか分からない不安な状況が続きましたし、隣接する岡山市の対応と比較もしてしまいました。さらに、避難場所に食料の用意がなく、各自で準備してから避難せよという指示は無理があるのではないのでしょうか。付近には商店などほとんどありませんし、どのようにして用意することを想定していたのか知りたいです。教育について。理由は様々あるようですが、昨今は小中学校の統廃合を進めていってしまっているようです。個人の意見としては、もう少し議論を深めてもよいのではないかと思います。通い慣れた学校が閉じ、急に他の小学校に通うこととなり、知らない校舎で知らない校歌を歌わされ、しかも統合先の学校には自分達よりも何年も先に過ごした同学年の子どもたちがいる。そうした状況に置かれた子どもたちの心理的な負担に対する考慮は十分であるのか否か。校舎が遠くなるからスクールバスを用意すれば大丈夫、というわけにはいかないと思います。現場で教育にあたる教職員への負担はどうでしょう。一気に相手をする児童生徒の人数が増えるので、目の届かない子どもたちも必然的に出てくるのが予想されます。もちろん、住む、ないしは通う児童数が多い都市部など人口密集地域やそこにある学校であれば、これらの問題は必然であり避けられないものです。しかし、玉野市の、昨今の小中学校の統廃合によってこれらの問題が発生するのは、都市部におけるそのような、いわば人口密集地域の性質による必然に由来するものではなく、行政による施策の結果です。むしろ「避けようと思えば避けられた問題」であるとも言い換えられますし、そうした謗りを受けかねません。子どもたちのことを思っている施策ならば、方法として適切であったのか否か、もう少し議論をすべきであったのでは、と考えています。上記のようなことは、若者を定住させるための即効性の施策という意味で、参考になるものではないかもしれません。しかし、誰もが市の中心部に住んでいるわけではありませんし、そうするわけにもいきません。瀬戸内国際芸術祭などに絡めて中心部を観光地化することは結構ですが、周縁部の課題にももう少し目を向けていただきたいと感じます。ひいてはそれが、若者の住みやすい環境にも繋がっていくのではないかと考える次第です。いくつか意見を述べましたが、行政の現場で働かれている職員の皆様に対しては日々感謝しております。お体に気をつけてお過ごしください。（男性 25～29 歳）

- ・外国人がよくいますので、サポート及びガイドがあればいいと思う。それには、業界のサポートもある。（男性 25～29 歳）
- ・観光のPRが下手。魅力いっぱい土地なのに勿体ない。（男性 25～29 歳）
- ・年寄りに金を使いすぎ。市役所を建て替える必要性。どの施設も行事も中途半端。（男性 25～29 歳）
- ・空き家の倒壊が危ないので、解体活動をしてほしい。（女性 25～29 歳）

- ・玉野市ならではの補助やサービスはもちろんのこと、こどものいない家庭もあるので、その方に対しての支援策もあると、玉野市を出る若者も減るのではないかと思います。移住に対しての補助も必要だと感じます。（女性 25～29 歳）
- ・住民税を安くしてください。（女性 25～29 歳）
- ・移住者や旅行者が居心地のよい町という視点もあるものの、現在住んでいる人は疎外感が凄まじく、騒音や治安の面など、迷惑だということも増えているのが現状である。率直に申し上げると、これ以上そちらに重きを置かれるのであれば、職場(倉敷市)への転居を本格的に検討せざるを得ない。（女性 25～29 歳）
- ・高齢化が顕著だと感じるため、子どもや若者が住みたいと思うまちづくりをお願いしたいです。今後も玉野市に住み続けるか悩んでいます。親、子ともに同年代がいる町に住みたいです。（男性 30～34 歳）
- ・やらない理由は、探せばいくつも出てくるからやらない。やれることからとにかくやってほしい。玉野市役所の方が、やりがいを持ち働きやすい環境を整えるべき。本当に頑張っ
て成果を出している人間が評価されるように。玉野市役所の方がやる気と意欲をもって働いてくれないとなにも変わらないと思います。（女性 30～34 歳）
- ・人口減少の根本原因を突き止めるべき→法律の改定、働く場所がない、産婦人科がない、公園も使えない遊具ばかり、公共交通機関が不十分、市で働く人や教職員のモチベーションが低い。魅力ある地域にするために市民税を増やしてもいいと思う。（女性 30～34 歳）
- ・いつもありがとうございます。瀬戸内国際芸術祭にはもっと力を入れてほしいです。（女性 30～34 歳）
- ・トイレなどのバリアフリーをもっと考えて市役所を立て直しすることなど。偉そうにふんぞりかえって座っているだけの市役所の上の方の職員の給料の減額、もっとみんなが必死で玉野市を変えよう、良くしようと動かないと、こんなアンケートとったところで何も変わらない。とったアンケートが無駄にならないよう願うばかりです。よろしくお願いします。（女性 30～34 歳）
- ・観光の促進として、ポケモンとのコラボとかどうでしょうか。ポケモンローカル A c t s という企画があり、この場合のポケモンの利用料は無料らしいです。現在 12 都道府県がコラボしています。都道府県とのコラボなので市町村としてのコラボは難しいかもしれませんが…県全体でコラボ→各市町村限定のマンホールの設置などもあるので、岡山県としてコラボできたら面白いと思います。ポケモンマンホールやコラボ商品の販売などで観光客も増えるのではないかと思います。ポケモンは海外の人にも人気なので、瀬戸内国際芸術祭と良い相乗効果が出るんじゃないかなと思います。（女性 30～34 歳）
- ・近くに本屋がないので、大きくて綺麗な図書館があるのがとても助かっています。（女性 30～34 歳）
- ・新婚の支援金（30 歳未満婚姻で 60 万円）が大変ありがたかったです…笑。私は夫の勤務先が近いからという理由で岡山市から玉野市に転入して来て、運良くパートの仕事を見つけて、まあ当分の間、夫が勤続できる間は玉野に居るのだろーと思っています。このまま玉野に住むのであれば、今現在かなり古い借家に住んでおり、このまま家賃をずっと払うのがいいのか、もう少し築年数の浅くて安めの賃貸もしくは中古物件購入がいいのか…でも通勤時間が…などと住まいについてはぼんやり考えています。（女性 30～34 歳）

- ・治安の良さや子どもの医療費無料であることをもっとアピールして、すみ良い環境であることを知ってもらう。（女性 30～34 歳）
- ・同性パートナーシップ制度や夫婦別姓に関する条例など、ニッチな層に向けての制度を整えることで、県内の他の自治体と差別化できて若者の定着率をあげられるのではないかと。（女性 30～34 歳）
- ・就職支援等もどのような活動をしているのかあまりわからない部分があるため、大きく打ち出してもいいのではないかと思います。（女性 30～34 歳）
- ・住民税を減らしてください。（女性 30～34 歳）
- ・とにかく荘内中の改善を望んでおります。（男性 35～39 歳）
- ・家を建て替えるときに他の市町村にはある補助金がなかったり、制限があったりでつかえなかった。土地が玉野市にあったので建て替えたが、他の街からわざわざ玉野市に引っ越しししないと思う。児島湖を綺麗にして、琵琶湖のように水遊びができるように整備してほしい。ユスリカも減らさないと虫が多い街に住みたがらない人も多い。（男性 35～39 歳）
- ・海外観光客に上手くお金を落としてもらえる仕組みづくり（男性 35～39 歳）
- ・玉野市に住んでいる特典や魅力を発信してほしい。あっても情報が入ってこない。（男性 35～39 歳）
- ・県外移住者だけでなく、元々定住していた人たちにとって住みやすい場所だと P R して、U ターン就職なども含め支援していく必要がある。とにかく住宅補助、支援で住む場所が安くなるなら、人口増加はしていくと思います。その P R も必要です。（男性 35～39 歳）
- ・人口が減ってきているというなら、婚活イベントなどをする。（男性 35～39 歳）
- ・L G B T Q の人たちも結婚のできるような制度づくり。自然の美しさをアピールし、観光客の集客。（女性 35～39 歳）
- ・ふるさと納税の返礼品を魅力的なものにする。（女性 35～39 歳）
- ・空き家を貸室にリフォームする。（女性 35～39 歳）
- ・玉野市のインスタグラムに地元の人の投稿を載せるのは素敵ですが、市の職員さんが撮ってくれた写真は全体的に地味じゃないかな。載せる写真の順番を考えるのも大事ですし、写真を加工したほうが良いと思います。玉野市の行事やイベントだけでなく、玉野市の新しくできたお店やカフェなどの情報も載せるのはどうですか？（女性 35～39 歳）
- ・今回のようなヒアリングなど、普段仕事や育児で忙しい世代の意見を聞いていただける機会はありがたい。（女性 35～39 歳）
- ・市議の年齢層を下げる。今どういう人がいるか知らないが、たぶん高齢者が多いでしょう。（女性 35～39 歳）
- ・玉野市に博物館や美術館がないのも問題（女性 35～39 歳）
- ・広報たまのなども面白いです。市民と行政の距離が近く、いろんな意見を吸い上げてくださっていると感じます。老若男女、子どもを持つ人も持たない人も、働きやすく暮らしやすい玉野市になるといいなと思います。（女性 35～39 歳）
- ・働く場所、住む場所、子どもの子育てに関わる場所（病院や保育所など）がしっかり揃っていないと、玉野市で子どもを産んでくれる人はいなくなるし、他所からも来てはくれない。人口減少に関してもっと真剣に行動してほしい。（女性 35～39 歳）
- ・家賃補助（女性 35～39 歳）

- ・野焼き絶対禁止。売地が増え、若い人達が玉野市で新築の住宅を設ける中、野焼きで換気ができない、身体への悪影響はマイナスイメージにしかない。身勝手な行動で、山火事にもなっているのだから、もっと厳しくすべきだと思う。（女性 35～39 歳）
- ・すでに成功している他の自治体を参考にする。（性別不明、35～39 歳）

9 その他の意見・要望

- ・夜遅くに無駄にエンジン音を鳴らすバイク乗りがいるため、取り締まりを検討してほしい。（女性 20～24 歳）
- ・玉野市がんばる。（男性 25～29 歳）
- ・埼玉のようにインボイス廃止をして、小規模事業の負担を軽減する。（男性 25～29 歳）
- ・人々の賃金を上げ、税金を減らす。（男性 25～29 歳）
- ・若者の医療保険を 1 割にして、老人には 3 割にする。（男性 25～29 歳）
- ・老人メインの町。中学卒業以降、玉野での生活に基準を置いていない。高校も専門も就職もバイトも。玉野に実家があるから帰ってきて寝ているだけ。朝から夜まで違う市にいる。（男性 25～29 歳）
- ・玉野市の平均収入をあげる。（女性 25～29 歳）
- ・廃業した建物(TSUTAYA など)がいつまでも残っており、見た目が悪い。視覚的に廃れた町だと思い込んでしまう。（女性 25～29 歳）
- ・ここ数年、市内で暴走族が検挙される事例がいくつかあったと思いますが、近所にも暴走族(改造して排気音を大きくしているだけ)がおり、住みやすい街とはいええない状況です。他県から移住したもの同士で結婚しておりますが、上記の通り子どもを育てるには適しておらず、住み続けるには大きな不安があります。常習的な騒音や迷惑行為についての web 通報窓口でもあればスムーズと考えるのですが、いかがでしょうか。（男性 30～34 歳）
- ・倉敷市、岡山市と住んで来ましたが、玉野市は自然豊かだから僕は好きです。スーパーは少ないし駅は遠いけど、それよりも得るものがあると僕は思います。今後も玉野市の発展に尽力したいとおもいます。（男性 30～34 歳）
- ・市町村単位でどうにかできる問題ではないと思います。法律・憲法が変わらねば。（男性 30～34 歳）
- ・公共機関の利便性も減少のイメージしかない。結局、岡山市内にでる。（男性 30～34 歳）
- ・駅や港などをもっと賑やかにするべき。街の玄関口なのに暗すぎる。（女性 30～34 歳）
- ・市内の高齢化が進み、地域的に保守派の人が多いため、時代への変化に対応しきれていないように思う。（女性 30～34 歳）
- ・交通ルールを守れていないお年寄りが多すぎる。停めてはいけない場所に停めたり、白線をはみ出して停めたり、自由すぎる。いつも運転手はお年寄り。最近の若い人はというけれど、最近のお年寄りの方が非常識。（女性 30～34 歳）
- ・海外の観光客が多く訪れる宇野港周辺は、もっと活性化できるはず。（女性 30～34 歳）
- ・玉野自体は、夜中に国道 30 号を走っている暴走族がいること以外は基本的に平和だと感じているので特にありません。問題は各会社などにあると感じています。（女性 30～34 歳）
- ・あれば良い・治安を良くする。（女性 30～34 歳）

- ・ のんびりしていて、環境のよいとても素敵な街だと思うが、利便性が上がればもっと最高だなあと思う。（女性 30～34 歳）
- ・ 玉野は岡山市中心部に比べると、あんまり人や車の混雑がなく、穏やかな瀬戸内海が見えて、セカセカしていない（お年寄りが多いから…？笑）雰囲気があり、私はいいところだと思っています。（女性 30～34 歳）
- ・ 政治、政治家など今の日本を動かしている人たちが若年層にもっと目を向けることが大事（女性 30～34 歳）
- ・ 郵便局の再行政化（女性 30～34 歳）
- ・ 外国人旅行者が観光に来てくれて嬉しい。（男性 35～39 歳）
- ・ 頑張ってください。応援してま～す!!（男性 35～39 歳）
- ・ 行政には全く期待しておりません。（男性 35～39 歳）
- ・ 最近暴走族が多く、治安や民度の悪化を実感することが増えている。暴走族や暴力団がいなくなるように、条例を作るなどして対応してほしい。夏場の光化学オキシダント（光化学スモッグ）が多いと感じる。工場も多いので、子どもや健康への悪影響が心配。（男性 35～39 歳）
- ・ 一夫多妻制の導入（女性 35～39 歳）
- ・ 高速 I C が遠い。（女性 35～39 歳）
- ・ リフォーム一軒家の賃貸というスタイルを増やすこと。（女性 35～39 歳）
- ・ 地方特有の男尊女卑が根強くあるのも、若者が地域を離れる原因だと思っている。（女性 35～39 歳）
- ・ 松山市→玉野市に引っ越しました。良いと思うのは自然が多くて癒されるところ、道路が広くて交通整備が整っているところ、市役所が近くにあり利用しやすいところです。また、古くからの歴史とアートの新しい風があり、観光地としても魅力的です。（女性 35～39 歳）
- ・ 賃金アップ（女性 35～39 歳）

玉野市 若者の意識と生活に関するアンケート調査
－ フリーアンサー取りまとめ結果 －

発 行／令和7（2025）年9月
発 行 者／玉野市 健康福祉部 こどもみらい課
〒706-8510 岡山県玉野市宇野1丁目27番1号
電 話（0863）32-5554
メー ル kodomo@city.tamano.lg.jp
